

平成21年10月20日

各 位

上場会社名 株式会社 タカラトミー
代表者 代表取締役社長 富山 幹太郎
(コード番号 7867)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 田島 省二
(TEL 03-5654-1548)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,000	3,200	3,100	2,700	29.31
今回発表予想(B)	86,700	5,600	5,600	4,800	52.31
増減額(B-A)	4,700	2,400	2,500	2,100	
増減率(%)	5.7	75.0	80.6	77.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	88,001	3,275	3,529	2,636	27.90

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,100	2,700	2,600	2,500	27.14
今回発表予想(B)	40,000	4,100	4,100	3,800	41.41
増減額(B-A)	900	1,400	1,500	1,300	
増減率(%)	2.3	51.9	57.7	52.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	40,063	3,458	3,690	2,860	30.26

修正の理由

(1)連結業績の予想について(第2四半期連結累計期間)

連結業績につきましては、主力の玩具事業が国内外とも順調に推移するとともに、連結子会社であるトイズユニオン株式会社におけるテレビゲーム関連商品の取扱量も増加していることから、売上高は当初見通しを上回る見込みとなりました。利益面につきましては、今年度の重要経営課題である“連結経営の強化”を推し進める中、後述のとおり個別業績の利益が大幅に拡大することに加え、ガチャ、ぬいぐるみ事業等を行う株式会社タカラトミーアーツ、アパレル事業の株式会社ティンカーベル、欧州玩具販売子会社等も事業構造改革等により収益力回復が進むなど、グループ全体の利益が増加しており、営業利益、経常利益および四半期純利益ともに、前回予想を大幅に上回る見込みであります。

(2)個別業績の予想について(第2四半期個別累計期間)

「トランスフォーマー」が6月の映画公開に伴い、特に海外向け輸出が好調に推移するとともに、トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」や4月からTVアニメ放送をスタートした現代版ベーゴマ「メタルファイト ベイブレード」が小学生男児に人気を博すなど、個人消費が低迷する厳しい販売状況下、重点商品ラインの販売強化により、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては、売上増にともなう粗利の増加、コスト削減活動および販管費の圧縮などの全社的業務改革活動の継続推進等により営業利益、経常利益および四半期純利益ともに、前回予想を大幅に上回る見込みであります。

(3)通期業績見通し(連結・個別)について

通期の業績予想値に関しましては、足元の厳しい市場環境を踏まえ、最大商戦期である年末商戦の見通し等を精査した上で、確定次第公表いたします。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上